



わたし、アナタ、min-na

No.11

そのすがたがうれしい

相談室編

2020年 7月 31日 市立札幌開成中等教育学校便り
〒065-8558 札幌市東区北22条東21丁目1-1
TEL 011-788-6987(代表) FAX 011-781-5629
HP <http://www.kaisei-s.sapporo-c.ed.jp/>

明日から夏休みが始まります。今年は短い夏休みですが、ゆっくり過ごして心も体もリフレッシュしましょう。8月17日(月)、元気なみなさんに会えるのを楽しみにしています。

今回はスクールカウンセラーの滝川秀子さんにコラムを書いていただきました。



「生きること」「命を全うすること」とは

スクールカウンセラー 滝川 秀子

外出する機会がめっきり減って、家で本を読んだりテレビを見たり考え事をしたり。私の「新しい生活様式」の中には、立ち止まってあれこれ考える時間が増えました。

新型コロナウイルス感染や災害等によって、まだまだ続いていくはずだった人生を突然奪われてしまうという悲しいニュースが続いています。また先日は、ALS患者の女性が命を落とすという事件も伝えられました。生きることに関心をもちながらもそれが叶わない人、その一方には生きることに関心をもちながらも絶望してしまう人。命を全うすることについて考えさせられるこの頃です。

6月に、私の大切な友人Yさんが神に召されました。もう何年もの間、入退院や自宅での療養を続けていたけれど、いつ会っても前向きで、多少の困難は笑い飛ばしてしまうような朗らかなYさん。その息子さんのS君も一緒に家族ぐるみのお付き合いでした。

最後にお会いしたのは5月の下旬、自宅にお見舞いに伺った時です。体調が悪化し食欲もなくなったため入院を勧められているけれど、それを断り在宅での療養を続けているとのこと。「今、入院すると(新型コロナ対策のため)家族との面会もできなくなるでしょ。Sに伝えておきたいことが、まだたくさんあるから」と。帰り際には、「これを使ってコロナに負けないで仕事してね」と、可愛らしい小花柄の手作りマスクを渡してくれました。

6月の半ば、「今度の月曜日の夕方には、またお見舞いに行こう」と思っていた矢先、容体が急変し入院、会えるはずだった月曜日の早朝にYさんは帰らぬ人となりました。

新型コロナの影響がなく、入院治療をしっかり受けていたら、まだまだYさんの命は続いていたのかもしれない。でも、そうして長く生きることよりも、S君のそばで残された一日一日を大切に過ごすことを選んだYさん。その最後の日々に、S君に何を語り何を残したのでしょうか。母としての想い、S君がこれから生きていくための術を、伝え切ることはできた

のでしょうか。私は、Ｙさんに伝えたいことが山ほど残っているけれど。

生きることには、悩みも苦しみも付き物です。毎日がハッピーで充実した日々ではないはず。生きている意味や、自分が存在していることの価値に悩むこともあるでしょう。でも、毎日、成果を出さなくてもいい、前進し続けなくてもいい、ただただそこにいるだけでいい、今日も明日も生きていてくれるだけでいいと、私は皆さんに伝えたいです。

生きることの意味をどれだけ考えても、答えはすぐには見つからないでしょう。でもその答えを探すこと自体が、生きている意味なのではないでしょうか。私も大したことはできないけれど、マスクに込められたＹさんの願いをしっかりと受け止めて、一日一日を積み重ねていこうと思っています。

【8月のスクールカウンセラー・相談支援パートナー 相談日】

スクールカウンセラー	滝川 秀子さん	8/17(月)、8/24(月)、8/31(月)
	太田 滋春さん	8/19(水)、8/26(水)
相談支援パートナー	栗田 正樹さん	8/19(水)、8/26(水)
	山吹はるえさん	8/18(火)、8/21(金)、8/25(火) 8/28(金)
相談支援パートナー 学びのサポーター	富長 佑来さん	8/17(月)、8/20(木)、8/24(月) 8/27(木)、8/31(月)



【保護者のみなさまへ】

カウンセリングの予約はいつでも受け付けております。お気軽に担任又は保健室までご連絡ください。

